

事務事業実績測定調査

事務事業名称														留守家庭児童会室維持管理事業													
測定年度				2021(R3)年度						部		学校教育部				課		放課後子ども課									
市長公約との関係				所信表明		○		市政運営方針		R2				R3				R4									
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																			
				施策目標				15.子どもたちが健やかに育つことができるまち																			
				実行計画名				15-2.保育環境等の充実																			
1. 事務事業の概要																											
種類				内部管理				特性				内部事務				区分				一般内部管理事務							
事業期間				1966(S41)年度				年度		～												年度まで					
根拠法令等				枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例																							
関係補助金名称														サンセット						～							
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット		留守家庭児童会室在籍児童																					
				サブターゲット		留守家庭児童会室在籍児童の保護者																					
				ターゲットが抱える課題		児童の安全性等を確保する観点から、老朽化が進む施設等について、改善を施す必要がある。																					
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)				適切に整備することにより、入室児童が安全・安心かつ快適に生活できる状態																							
事業概要				市立小学校に開設している枚方市立留守家庭児童会室について、老朽化に係る修繕、電化製品の修理、市有建築物定期点検等の委託、座卓・掃除機等備品の購入等、適切に維持管理を行い、児童会室の円滑な運営に資する。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
								入室児童が安全・安心かつ快適に生活できる。				修繕など必要な維持管理を行う。															
指標設定				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
				指標説明				施設維持管理に係る苦情件数				修繕件数															
																単位				単位		件		単位		件	
				指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
						目標 (見込み)								0		0		0		0							
						実績								89		63											
達成度								0%				104%															
分析								修繕など必要な維持管理を行った。				修繕など必要な維持管理を行った。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.66
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,903	14,817	12,617		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	454	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	11,357	14,817	12,617		
	物件費計		17,631	9,615	22,897	26,881	95%
歳出計			28,988	24,432	36,237		
歳入	国庫支出金		7,495	0	0	0	
	府支出金		7,495	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		14,990	173	0	0	
一般財源			13,998	9,442	23,620	24,906	

5. 総括的分析

総括的分析	入室児童が安全・安心かつ快適に生活できるよう、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	入室児童が安全・安心かつ快適に生活できるよう、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	留守家庭児童会室運営事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	学校教育部			課	放課後子ども課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	1966(S41)年度			年度	～				年度まで	
根拠法令等	児童福祉法、枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例									
関係補助金名称							サンセット			～
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		留守家庭児童会室在籍児童							
	サブターゲット		留守家庭児童会室在籍児童の保護者							
	ターゲットが抱える課題		・年度途中の入室申込において、留守家庭児童会室によっては定員超過となるため、待機となる場合がある。 ・入室児童数の増加傾向は継続しており、運営に必要な施設や人員の確保が困難となっている。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入室を希望する児童が全て入室できること。円滑な児童会室運営を通じて、児童が安全で快適な生活を過ごせ、その保護者が安心して預けることができる状態。									
事業概要	保護者の労働・病気等により、保育を必要とする小学1年生から6年生までの児童に、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、もってその健全な育成を図ることを目的に、枚方市立留守家庭児童会室を各市立小学校に開設しており、各児童会室の定員は基準条例に基づき設定している。通常の申込期間である1月末までに定員を超える申込があった場合は、待機児童解消のため臨時定員を設定している。また、年間で7～9日程度、土曜日に臨時開室を実施している。平成23年度からは拠点方式で4か所において障害のある5・6年生を受入れていたが、平成30年度から全学年の受け入れを開始した。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	入室児童が安全で快適な生活を過ごせ、保護者が安心して児童を預けることができる。				申し込みに対し、適切に審査したうえで入室決定処理を実施する。				入室を希望する児童の保護者から入室申し込みが行われる。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明	待機児童数(1月末時点)				入室決定した児童数				受付した入室希望者数				
		単位		人		単位		人		単位		人		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	0	0	0	4,800	4,800	5,000	5,000	4,800	4,800	5,000	5,000
		実績	0	94			4,743	4,691			4,790	4,995		
	達成度	0%				98%				104%				
	分析	1月31日時点の「入室資格を有するすべての申込者」の受け入れができず待機児童が発生した。				1月31日時点の「入室資格を有するすべての申込者」の受け入れができず待機児童が発生したことから目標値には及ばなかった。				受付した入室希望者数は、年々増加傾向にある。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.32
任期付職員	85.60
会計年度任用職員	54.51
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	668,696	440,340	389,738		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	202,062	236,332	228,943		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	870,758	676,672	618,681		
	物件費計		180,761	62,801	37,606	39,948	96%
歳出計			1,051,519	739,473	656,497		
歳入	国庫支出金		189,726	158	19,582	19,412	
	府支出金		172,322	0	19,162	19,412	
	受益者負担(使用料・手数料)		340,861	272,619	285,461	356,281	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		702,909	29,191	324,205	395,105	
一般財源			348,610	33,610	286,599	355,157	

5. 総括的分析

総括的分析	臨時定員を設けるなど弾力的な運用を図ったものの、1月31日現在の入室資格を有するすべての児童の受け入れができなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和5年4月から全小学校で総合型放課後事業の導入される予定であるため、留守家庭児童会室の役割について検証していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														留守家庭児童会室整備事業													
測定年度				2021(R3)年度						部		学校教育部				課		放課後子ども課									
市長公約との関係				所信表明		○		市政運営方針		R2				R3				R4									
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																			
				施策目標				15.子どもたちが健やかに育つことができるまち																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業							
事業期間				1966(S41)年度				年度		～												年度まで					
根拠法令等				枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例																							
関係補助金名称														サンセット						-							
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット				留守家庭児童会室在籍児童																			
				サブターゲット				留守家庭児童会室在籍児童の保護者																			
				ターゲットが抱える課題				入室児童の増加と施設老朽化に伴い、必要となる整備が増加していること																			
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)				入室を希望する児童が全て入室でき、安全・安心かつ快適に生活できる状態																							
事業概要				建築後年数の経過している留守家庭児童会室の建替え等を行い、児童の安全性と快適性を確保することを目的として、計画的に留守家庭児童会室施設の建替え及び学校施設の活用による整備を行う。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)											
				児童の生活環境の改善が図られる。						一人当たりの保育面積をもとに、適正な必要保育面積を設定する。						留守家庭児童会室の建替え・修繕、学校の余裕教室の改修等を行い、保育スペースを確保する。											
指標設定				アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)											
				指標説明						必要保育面積						整備を実施した留守家庭児童会室数											
				【算出式:保育面積／必要保育面積×100】																							
				単位						単位						単位											
				%						平米						室											
				指標種類						増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標					
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4	
目標 (見込み)		100				100		100		100		7,425		7,425		7,425		7,425		0		0		0			
実績		120.28				126.80						8,250		7,825.95						0		3					
達成度				127%						105%						100%											
分析				必要な保育面積の確保に努めることができた。						必要な保育面積の確保に努めることができた。						必要な保育面積の確保に努めることができた。											

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,806	0	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	2,806	0	0		
	物件費計	85,631	0	0	0	—	
	歳出計		88,437	0	0		
歳入	国庫支出金		10,625	0	0	0	
	府支出金		10,624	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		10,300	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		31,549	0	0	0	
一般財源			56,888	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	必要な保育面積を確保し、児童の生活改善に努めることができた。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	必要な保育面積を確保し、児童の生活改善に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														留守家庭児童会室情報端末導入事業													
測定年度				2021(R3)年度						部		学校教育部				課		放課後子ども課									
市長公約との関係				所信表明		○		市政運営方針		R2				R3				R4									
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																			
				施策目標				15.子どもたちが健やかに育つことができるまち																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類				内部管理				特性				内部事務				区分				一般内部管理事務							
事業期間				2020(R2)年度				年度		～		2021(R3)年度				年度まで											
根拠法令等				決裁																							
関係補助金名称														サンセット				-									
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット				放課後子ども課及び児童会室職員																			
				サブターゲット				入室児童の保護者等																			
				ターゲットが抱える課題				児童会室職員の出退勤や時間外勤務申請等について、現在は紙ベースで事務処理している。また、児童会室で作成する保護者宛のお便り等を手書きで作成しており、多くの時間・コストを要している。																			
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)				服務関係事務等をシステム化して、課及び児童会室職員の事務負担の軽減及び学校連絡便等で行ってきた文書の受け渡しや、保護者等への連絡も正確かつ迅速化が図れている状態。																							
事業概要				各市立小中学校で実施している留守家庭児童会室事業について、当面、市直営を継続する児童会室にパソコン・プリンター・IP電話機・出退勤システム等の情報端末の導入を推進する。 情報端末は校舎外の児童会専用室に設置し、庁内LAN、メール等を基本に制限付でネット接続が可能な形で導入を進める。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
								課及び児童会室職員の事務負担の軽減				児童会室にパソコン・プリンター・IP電話機・出退勤システム等の情報端末を導入															
指標設定				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
				指標説明				年間削減時間外勤務時間数				情報端末を導入した留守家庭児童会室数															
																単位				単位 時間				単位 箇所			
				指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
						目標 (見込み)								630		2,520		-		-							
						実績								491.50		3,712											
達成度								147%				100%															
分析								情報端末導入により一定の効果は認められた。				情報端末を導入した留守家庭児童会室数は目標に達した。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	2,233	1,571		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	—	2,233	1,571		
	物件費計		—	8,253	10,339	10,687	97%
歳出計		—	10,486	11,910			
歳入	国庫支出金		—	0	0	0	
	府支出金		—	8,253	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	0	0	0	
	市債		—	0	0	0	
	その他		—	0	0	0	
	歳入計		—	8,253	0	0	
一般財源			—	0	10,339	10,687	

5. 総括的分析

総括的分析	情報端末導入に伴う時間外勤務の削減については、一定効果はあるものの、人員不足による時間外勤務が増加している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き時間外勤務の削減に努めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方子どもいきいき広場補助事業									
測定年度	2021 (R3) 年度			部	学校教育部			課	放課後子ども課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業
事業期間	2010 (H22) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	枚方子どもいきいき広場事業補助金交付要綱									
関係補助金名称	枚方子どもいきいき広場事業補助金						サンセット	2020 (R2) 年度		2022 (R4) 年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		枚方市内の小学生							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		小学校の授業日が週5日制になったことや地域における世代間交流が減少傾向にあることから、児童の健全な育成を図る場を確保する必要がある。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市全小学校区に住む児童に対し、地域の特色や多様性をいかしたプログラムを提供することで、児童の健全な育成を図る場所がある状態。									
事業概要	土曜日の学校休業日を基本に、地域団体やNPO等により、各校区の小学1年生～6年生を対象に、スポーツや英語のほか、体験学習や昔遊びなど、地域の特色や多様性をいかしたプログラムを実施する。市においては、活動実績等に応じた補助金を交付するとともに、運営にあたってのアドバイス等の支援を行っている。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		児童の健全な育成を図ることが出来る。				地域の特色や多様性をいかしたプログラムを提供する。				各校区の小学1年生～6年生を対象とした、地域団体やNPO等の活動実績等に応じた補助金を交付する。				
指標設定	指標説明		参加した子どもにおける事業の満足度 【算出式:満足度の高いアンケート回答者数 ／アンケート回答者数×100】				参加児童数				いきいき広場事業実施団体数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		単位 %				単位 人				単位 団体			
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	指標数値		85 80 80 80				53,280 53,650 54,020 54,390				45 45 44 44			
	指標数値		0 88.40				10,287 12,782				45 45			
	達成度		111%				24%				100%			
	分析		参加者の満足度は概ね高いものとなっている。				コロナウイルス感染症の影響もあり開催回数が減少したため目標には及ばなかった。				すべての小学校区において実施団体の応募があった。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.52
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	962	3,158	3,235		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,400	2,468	2,288		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	3,362	5,626	5,523		
	物件費計		28,098	15,629	16,661	32,231	52%
歳出計			31,460	21,255	22,184		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			31,460	15,629	16,661	32,231	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いきいき広場事業の活動を9月末まで自粛した校区が多く、10月以降については、感染防止対策を十分に講じて、活動を再開したものの活動回数は大幅に減少した。 いきいき広場事業の活動団体代表者会議を通常は年間3回行っていたが、10月に1回開催し、活動報告や取組みについて情報交換を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内45小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を生かしたプログラムを児童健全育成事業として引き続き実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称																					
総合型放課後事業(放課後キッズクラブ)																					
測定年度		2021(R3)年度			部		学校教育部			課	放課後子ども課										
市長公約との関係		所信表明	○	市政運営方針	R2			R3			R4	○									
総合計画体系		基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																
		施策目標			16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち																
		実行計画名																			
1. 事務事業の概要																					
種類		市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業									
事業期間		2017(H29)年度			年度		～						年度まで								
根拠法令等		社会教育法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、枚方市附属機関条例																			
関係補助金名称								サンセット				～									
関係附属機関名称		児童の放課後対策審議会																			
事業対象		メインターゲット		市内に居住する小学生																	
		サブターゲット		市内に居住する小学生の保護者																	
		ターゲットが抱える課題		全ての児童が安全・安心に仲間と過ごすことができる時間と空間を用意し、より豊かな放課後を再生するとともに、保護者が安心して仕事等に専念できる環境(「小1の壁」の打破)の整備が求められている。																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		全ての就学児童が、放課後や土・日曜日、三季休業期間中に、安全・安心な学校敷地内で、1年を通して仲間とともに自由に自主的に遊べる環境が整備されるとともに、小1の壁が打破された状態。																			
事業概要		全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、国は平成30年9月に「放課後子ども総合プラン」に続く「新・放課後子ども総合プラン」を策定し、放課後児童クラブ(本市の「留守家庭児童会室」に相当)及び全児童を対象とする放課後子供教室(本市の「放課後子ども教室」及び「放課後自習教室」)の両事業を小学校の敷地内で実施する、一体型を中心とした計画的な整備等を進めることを求めている。 本市の実情に即した児童の放課後対策を進めていくため、市立小学校4校で放課後子ども教室モデル事業を実施し、その検証結果と児童の放課後対策審議会の意見や本市の財政状況等も踏まえながら、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の一体的な運営を核とし、放課後自習教室や枚方子どもいきいき広場とも連携・協働する総合的な放課後対策に向けた取組を順次進める。 児童の放課後対策審議会委員は、学識経験を有する者、社会教育に関する専門的知識を有する者、児童福祉に関する専門的知識を有する者、並びに市民団体または関係団体を代表する者の中から、教育委員会が委嘱する(11人以内)。任期は2年間。																			
2. ロジックモデル及び指標設定																					
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
		子どもたちの健やかな成長に重要とされる「時間」「空間」「仲間」いわゆる「3間(サンマ)」が充実した環境の中で、児童の自主性や社会性、創造力などが育成される。				希望する児童が放課後子ども教室を利用する。				放課後子ども教室を市立小学校で順次実施する。											
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
		放課後子ども教室および放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室に参加した児童と保護者の満足度 【算出式:アンケートにて「満足」「やや満足度」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				放課後子ども教室の年間延べ利用人数				放課後子ども教室実施校											
				単位		%				単位		人									
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
				目標(見込み)		—		80		80		80		—		3,600		3,600		127,600	
				実績		—		76.24				—		3,244				—		4	
		達成度		95%				90%				4%									
分析		目標には及ばなかったものの概ね満足されているとの回答を得た。				コロナウイルス感染対策を行いながらの実施のため目標には及ばなかった。				直営2校、委託2校を予定どおり実施した。											
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
		子どもたちの健やかな成長に重要とされる「時間」「空間」「仲間」いわゆる「3間(サンマ)」が充実した環境の中で、児童の自主性や社会性、創造力などが育成される。				希望する児童が留守家庭児童会室を利用する				放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室を実施する											
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
		放課後子ども教室および放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室に参加した児童と保護者の満足度 【算出式:アンケートにて「満足」「やや満足度」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				待機児童数(4月1日時点)				放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室数											
				単位		%				単位		人									
		指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
				目標(見込み)		—		80		80		80		—		0		0			
				実績		—		76.24				—		56				—			
		達成度		95%				0%				100%									
分析		目標には及ばなかったものの概ね満足されているとの回答を得た。				待機児童の解消に努める				実施校を予定どおり増加させる											

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	14.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付		21,373	17,521		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)		827	2,561		
		特別職非常勤			0		
		附属機関委員		314	143		
		人件費計		22,514	20,225		
	物件費計			42,559	43,373	98%	
歳出計			0	62,784			
歳入	国庫支出金		0	3,228	3,829		
	府支出金		0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0		
	市債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	歳入計		0	3,228	0		
一般財源			0	39,331	43,373		

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は直営2校、委託2校で先行導入した。 その検証結果を踏まえ、令和5年4月より、全小学校において総合型放課後事業を実施する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	令和5年4月の本格実施にむけて、民間委託業者(22校)の選定を令和4年度に行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	放課後子ども課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	学校教育部				課	放課後子ども課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			9.施策体系外										
	施策目標			99.施策体系外										
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務			
事業期間					年度	～						年度まで		
根拠法令等	決裁等													
関係補助金名称									サンセット		-			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		放課後子ども課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。													
事業概要	課の運営業務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		単位		単位		単位							
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.89
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付			2,611		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			6,611		
		特別職非常勤			0		
		附属機関委員			0		
		人件費計			9,222		
	物件費計				456	720	64%
歳出計					9,680		
歳入	国庫支出金				0	0	
	府支出金				0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)				0	0	
	市債				0	0	
	その他				0	0	
	歳入計				0	0	
一般財源					458	715	

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営を円滑行うため適切な事務執行を行うことができた。
-------	------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	課の運営を円滑に行うため適切な事務執行を行う。